

— “感動”が人をつくる —
Culture
Niigata

Culture Niigata

2019.06-08
vol.99

【令和元年5月25日発行】発行・編集／（公財）新潟県文化振興財団 編集・制作／（株）関東朝日広告社 デザイン／磯野和也 印刷／昭栄印刷（株）



NEXT STAGE

— 情熱の行方 —
女優 永宝千晶

親子で楽しもう

新潟イベント情報

— シリーズ —

URAKATA 

あなたの善意を小児がんの
子どもたちに届けます。

がんの子どもを守る 定期貯金

10万円以上かつ1年以上の定期貯金をお預け入れいただくと、
JAバンク新潟が2020年1月31日現在の本定期貯金残高の
0.05%相当額（例：お預け入れ金額10万円の場合、50円）を
“公益財団法人がんの子どもを守る会”に寄付いたします。

※個人のお客様のみお預け入れいただけます。
※寄付について、お客様のご負担はございません。

【取扱期間】
2019年4月1日（月）▶2020年1月31日（金）

※取扱期間内でも、募集金額（県内合計30億円）に達した翌々営業日をもって募集を終了させていただきます。



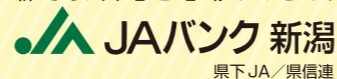
公益財団法人がんの子どもを守る会とは・・・

小児がんは医学の進歩にともなって、「不治の病」から「治る病気」になりつつあります。しかし、小児がんの患者とその家族はさまざまな問題を抱えているのが現状です。がんの子どもを守る会は、患児家族が直面している困難・悩みを少しでも軽減すべく、多くの方々の支援のもとに活動している団体です。

ホームページでもご案内しております。



耕そう、大地と地域のみらい。

 JAバンク 新潟
県下JA／県信連

NEXT STAGE

—情熱の行方—

女優
永宝千晶 Chiaki Nagatomi

これからの舞台芸術を担う、新潟ゆかりのアーティストを紹介する「NEXT STAGE」。今回は柏崎市出身の女優・永宝千晶さん。現在、東京・文学座に所属し、映画『スター・ウォーズ』シリーズのレイ役など声優としても活躍する永宝さんにこれまでの歩み、そしてこれからの思いを聞いた。

子どもの頃から 舞台を観るのが好きだった

—幼い頃は何になりたかったのですか？

ずっとピアノを習っていたので、ピアノの先生になりたいというのが幼い頃からの夢でした。それで大学も教育学部で音楽専攻を選択して進学したんです。ただ、大学時代で挫折してしまったんですね。

—挫折というのは？

周りの同級生たちと比べてしまい、「あ、私、そこまでピアノがうまくないし、ピアノが好きでなかったかもな」と気づいてしまったんです。それでピアノは仕事にできないと思い、しばらくへこみました。でも、ちょうどその頃、新たに夢中になれるものが私の中に芽生え始めていたので、そちらに気持ちをすぐに切り替えました。

—新たに夢中になれるもの、それが演劇だったんですね。

はい。舞台を観るのは子どもの頃から好きでした。親子劇場みたいな公演があるとよく連れて行ってもらいました。高校3年の頃は、テレビで放送される舞台中継番組は全部チェックして観ていました。大学に入り、新潟市内に住むようになってからは、りゅーとびあ新潟市民芸術文化会館で開催される舞台公演はほとんど観に行きました。目の前に広がっていたはずの世界が終演と同時に幻のように消えていく。その感じに無性に惹かれましたね。

—そこから演じる側、女優を目指すようになったきっかけは何だったんですか？

いろいろ観ているうちにいつしか自分も演じたいと思い始めていました。それで、いざ就職を目の前にした時に「やりたいことをやらずに就職したら絶対後悔する」と思い、まわりの演劇好きな友人たちと一緒に、野田秀樹さんの戯曲で自主公演をりゅーとびあスタジオBでやりました。これが本当に面白くて楽しくて。もっと演劇をやりたいなりました。



KURITAカンパニーの旗揚げ公演「リア王」撮影／武居昌志

舞台に立てるだけで幸せ！ 将来の不安なんてなかった

—そこからプロを目指すようになるわけですね

そうなんです。当時、りゅーとびあで演出家の栗田芳宏さんが「能楽堂シェイクスピアシリーズ」の演出を担当されていました。そのことを知り、何とかそこに入れなかなと思ってた矢先、栗田さんがワークショップを開催すると聞いてすぐに参加。それ以降、栗田さんの演出作品に出させていただくようになりました。一応、教職をとり、就職のため2社ほど受けたのですが、その頃にはもう、たぶん私は就職しないだろうなと思っていました。両親は新潟で先生になってほしいと願っていたと思うので、そこは本当に申し訳なかったです。

—初舞台は2006年、『リア王』でりゅーとびあスタジオ公演だったそうですね。

栗田さんが新しく立ち上げたKURITAカンパニーという劇団の旗揚げ公演でした。とにかく舞台に立てることがうれしくてしかたなかったですね。当時はまだ演劇だけでは食べていけなくて、アルバイトもいろいろしていたのですが、幸せな気持ちの方が圧倒的に大きくて将来への不安など微塵もなかったです。

—能楽堂シェイクスピアシリーズで海外ツアーも経験されたそうですね。

ほとんど舞台経験もないにもかかわらず、『劇場版 冬物語』という作品で、ルーマニア、ポーランドなどヨーロッパ5カ国をまわりました。私たちは日本語で演じてそれが字幕で出るのですが、どの国の方々もすごく感動してくれて。うれしかったです。

—文学座にはいつ?きっかけも含めて教えてください。

文学座附属演劇研究所に入ったのが2012年です。栗田さんのところで一緒だった友人が、一足先に入っていたのでという極めて単純な動機で文学座に決めました。とはいえ、すべてをリセットして上京したわけなので、ここが人生の大きなターニングポイントだったと思います。文学座では本科で1年、研修科で2年学び、査定を経て座員に昇格。それでも最初の2年は準座員、その後ようやく座員、です。最初約30人だった研究生が研修科に上がる時点で16人になり、準座員に上がったのは私ともうひとりの2人だけでした。入ったのが29歳になる年だったので年齢的に厳しいと思いきや、何とか残ることができました。本当によかったです。

『スター・ウォーズ』レイ役で 一気に注目が集まって

—文学座での本格デビューは？

2016年の文学座本公演『春疾風(はやて)』で、場所は紀伊国屋ホールでした。まだ、準座員でしたが、東京の舞台に立てただけで感無量でした。

—女優以外にも、声優としても活躍。映画『スター・ウォーズ』シリーズのレイ役も担当されています。

そんなに自分の声が好きではなかったのですが、16年頃、ご縁があって、声のお仕事を少しずつやるようになりました。ある日、「何事も経験!受けてみて。」と言われ、作品名も分からないまま、オーディションを受けたのが『スター・ウォーズ』のレイ役。決まった時はマネージャーも私もびっくりでした。

—実際にレイを演じるにあたり、どんなことを心がけましたか？

吹き替えであれだけの量のセリフを喋るのは初めてのこと。声を映像の中の演者にあてるとというのが、こんなに難しい作業とは思いませんでした。ただ、私自身は、レイ役の女優デジー・リドリールさんが、この役をどうとらえて演じたか、本当に細部にいたるまで取りこぼさないよう心がけました。あとはディレクターさんと相談しながら、何度もテイクをとらせていただきながら成し遂げたという感じです。



—この大役を果たしてから、何か変わりましたか？

何よりまず両親が喜んでくれたのがうれしかったです。文学座に所属が決まってもずっと心配していたみたいで、でも、“レイ”を機に全面的に応援してくれるようになりました。新潟時代から応援してくれていた友人知人もみんな喜んでくれました。今まで自分一人の思いだけで突っ走ってきたつもりでしたが、決してそうではなかったんだと実感しました。また、この作品で私の存在を知ってくださった方も多く、そういう方からメッセージをたくさんいただいたのも心遣うれしかったです。さらに始球式やイベントなどにも出演させていただくようになり、仕事の幅は格段に広がりました。

—よかったですね。では改めて感じている女優という仕事の魅力をお聞きしたいのですが。

私は私でしかないの、全く別人になれるわけではないのですが、自分を通して別の人間の人生を生きる、もしくは生きようとする事ができる。それがとても難しいけれど、同時にすごく面白いです。最近、劇団以外の役者さんとご一緒させていただくことが増えているのですが、そのたびに考え込んでしまいます。「私はこの人たちのようにちゃんと役と向き合っているのかな」と。そのために、目の前の相手役の人とちゃんとやりとりをする、交流することを大切にしているように感じています。

—では、今後の目標を教えてください。

舞台は日によって全然お客様の反応が違うので、本当に“生もの”だなという感じがしてそこに魅力を感じているのですが、今後はテレビや映画にも出たいですね。実はまだ映像のお仕事をやったことがなくて。

—それは意外ですが、ぜひ映画などにも出演してほしいです。最後に新潟のみなさんにメッセージをお願いします。

まだまだ出演作品が多くないのですが、みなさんに「永宝千晶と言えば、新潟出身の女優だよ」と誇らしげに言ってもらえるように頑張りますので、これからもよろしくお願いたします。今年は7月11日(木)に長岡リリックホールで文学座公演『ガラスの動物園』があります。名作なのでプレッシャーを感じつつもこのチャンスをムダにしないように精いっぱい演じますので、ぜひ観に来てください。

取材協力:文学座



塩田朋子 亀田佳明 永宝千晶 池田倫太郎

Question & Answer

Q. 休日の過ごし方は？

映画を観たり友人と会ったり。「きょうの猫村さん」と「よつぱと!」という漫画が好きで、読んでニヤニヤしたりしています。

Q. 好きな映画は？

樹木希林さんが出演する映画はだいたい観ています。特に『あん』(2015)が好きですね。洋画だと、『ノッキン・オン・ヘプンズ・ドア』(1999日本公開、ドイツ映画)。余命宣告された男性2人が海を目指す物語です。

Q. 好きな音楽は？

いいなと思ったものは何でも聴きますが、特に好きなのは矢野顕子、上原ひろみ、ハナレグミです。

Q. ご自身の性格を自己分析すると？

幼少時は活発で、身体を動かすのが好きでした。負けず嫌いだだったところは今も変わらない。何かを決断するまでは時間がかかるのですが、いざ決めると行動は早いです。血液型はB型です。



永宝千晶

柏崎市生まれ。幼い頃からピアノを習い、音楽教師を志して新潟大学教育学部音楽専攻へ。在学中、演劇に目覚め、急きょ進路を変更。新潟市内にある劇団KURITAカンパニーでシェイクスピア劇に取り組んだ後、2012年、東京・文学座の研究所に入所。研究生、準座員を経て17年度より座員となる。初舞台は、06年『リア王』(りゅーとびあスタジオ公演)、07年には『劇場版 冬物語』で初の海外公演。文学座本公演に初めて参加したのは準座員時代の16年、『春疾風』(紀伊國屋ホール)。18年には『怪談 牡丹燈籠』で数カ月及ぶ地方公演も経験。また、声優としては『スター・ウォーズ/フォースの覚醒』『スター・ウォーズ/最後のジェダイ』のレイ役のほか、数々の洋画、海外ドラマに出演している。趣味・特技はピアノ、声楽、ソフトテニス。中高音楽教員免許も持つ。17年にかしわざき大使就任。

公演情報

ミュージカル・演劇・舞踊

託児あり

文学座公演『ガラスの動物園』

7/11(木) 18:30 長岡リリックホール シアター

1945年ブロードウェイでのロングラン公演以来、世界中で上演され続けているテネシー・ウィリアムズの名作を、文学座では約30年ぶりに高橋正徳が演出。前回上演時にローラを演じた塩田朋子が母アマンドを演じます。“理想の家族像”に執拗にこだわる母子家庭の母、身体的コンプレックスから引きこもりとなるローラ、自分を取り巻く世界への怒りや満たされない承認欲求に燃えるトム。やりきれない現実への閉塞感にさいなまれる一家だったが、ある夜、ひとりの訪問者によって再び時間が動きだす。

料 金	全席指定 3,000円 ※未就学児の入場はご遠慮ください。
主 催 お問合せ	(公財)長岡市芸術文化振興財団 0258-29-7715

新潟イベント情報

県内で行う様々な催物をお届けします。会場に足を踏み入れると、そこは別世界。是非、体感してみてください。

「新潟イベント情報」への掲載をご希望の方は、下記までご連絡ください。次号vol.100は、8月下旬発行予定です。7/7(日)までに、9月～11月の催物情報をお寄せください。

(公財)新潟県文化振興財団 事業課「カルチャーにいがた」係

TEL 025-228-3577 FAX 025-228-3818 E-mail jigyou@niigata-bunka.jp

※【助成事業】は(公財)新潟県文化振興財団助成事業です。
※未就学児は入場不可場合があります。☺【託児あり】の公演には託児室を設置します。(要予約)
※5/20時点の情報です。主催者等の都合により内容等が変更になる場合があります。詳細については、各問合せ先へご確認ください。

ホームページ「新潟文化物語」にも各種催物情報を掲載しています。掲載をご希望の方はホームページ上から登録をお願いします。

新潟文化物語 検索

分野別アイコン コンサート ミュージカル・演劇・舞踊 古典・伝統 美術展・写真展 イベントなど

コンサート

エイミー・ハナイアライ ～ハワイアン・ミュージック&フラ・コンサート～

6/5(水) 19:00 新潟県民会館 大ホール

類い稀な歌声。圧倒的な歌唱力。そして、全てのフラガールの憧れ。ハワイを代表する歌姫3年ぶりの全国ツアー決定!第一部では新潟のフラグループによる共演もあります。

<第1部> エイミーと日本のフラ・チームの華やかな競演
<第2部> エイミーの歌声をじっくり楽しむヘアレイ・スタンレー(フラ・ダンサー)



エイミー・ハナイアライ (ウナカール)

ヘアレイ・スタンレー (フラ・ダンサー)

料 金	全席指定 5,500円 ※未就学児の入場はご遠慮ください。
お問合せ	新潟県民会館 025-228-4481

【主催】(株)ブランドン、(公財)新潟市芸術文化振興財団

コンサート

助成事業

第29回インターナショナル・オルガン・フェスティバル・イン・ジャパン2019

6/7(金) 18:30 りゅーとびあ コンサートホール

バッハが師と仰いだドイツリュベック大聖堂のブクステフーデの後継者である世界最高と世界中でみとめられているDrシュテンダー教授を招聘。バッハとブクステフーデのレジスト(音楽の組み合わせ)と解釈、ベートーヴェンの著名な曲や、日本の歌曲民謡の編曲法など、オルガン音楽の全ての貴重な宝をお楽しみいただけます。

出演:Drエルンスト・エーリヒ・シュテンダー教授(ドイツリュベック)

曲目: D.ブクステフーデ/トッカータ 二短調BuxWV 155、J.S.バッハ/パッサカリア 八短調BWV 582、L.V.ベートーヴェン/歓喜の歌 交響曲 第9番 op125、運命 交響曲 第5番 短調 op67、滝廉太郎/荒城の月 他



料 金	全席指定 4,000円 ※未就学児の入場はご遠慮ください。
お問合せ	オルガン・フェスティバル組織委員会事務局 03-3375-0164

【主催】インターナショナル・オルガン・フェスティバル・イン・ジャパン新潟実行委員会

コンサート

狩野泰一 篠笛WORLD MUSIC with 柴田亮太郎(ギター) ～篠笛の新たな音世界～

6/6(木) 18:30 りゅーとびあ スタジオA

篠笛で新たな音世界を創り続けてきた狩野泰一の、さらなる新境地に乞うご期待!
出演:狩野泰一(篠笛)、柴田亮太郎(ギター)



料 金	全席自由 一般 4,500円 学生 2,000円 高校生以下 1,000円 ※未就学児の入場はご遠慮ください。
主 催 お問合せ	J-コンチェルト 090-9425-8824(高橋理香)

コンサート

助成事業

新津吹奏楽団創立40周年記念 第25回定期演奏会

6/9(日) 14:00 新潟市秋葉区文化会館

創立40周年第25回の記念として、様々な工夫を凝らし「魅力あふれる吹奏楽」をテーマに大いに楽しんで頂こうと企画しています。県内出身のトランペット奏者の藤井裕子さんとの共演や作曲者の西邑由記子先生に委嘱曲をお願いして、その初演を行う事や、「GR」シンフォニック・バージョンの演奏などいろいろと盛り沢山です。ぜひご来場ください。

曲目:委嘱曲「Smiling after the rain」、さくらのうた、「GR」シンフォニック・セレクション、ゴッドファーザー～愛のテーマ 他



料 金	全席自由 入場無料
主 催 お問合せ	新津吹奏楽団 090-2328-2462(山本)

コンサート

宝くじ文化公演
ウィーン少年合唱団コンサート

6/11(火) 19:00 加茂文化会館
6/12(水) 19:00 魚沼市小出郷文化会館

《日本・オーストリア友好150年記念プログラム》による宗教曲、エーデルワイス、美しく青きドナウなどの楽しいコンサートです。宝くじの助成で通常の半額程度という特別料金です。



出演:ウィーン少年合唱団(ブルックナー組) マノロ・カニン(カペルマイスター)
曲目:ピアノソナタ/リベルタンゴ、ロジャース/エーデルワイス、岡野貞一/ふるさと他

料金 全席指定 一般 3,000円 高校生以下 1,500円(当日各500円増)
※未就学児の入場はご遠慮ください。

お問合せ 加茂文化会館 0256-53-0842 魚沼市小出郷文化会館 025-792-8811

【主催】加茂市(加茂公演のみ)、魚沼市、魚沼市教育委員会(魚沼公演のみ)、(一財)自治総合センター

古典・伝統

藤本吉利・藤本容子
唄と太鼓の二人行脚 ~響き合う魂の息吹き~

6/15(土) 14:30 ヤホール

弥彦公園に隣接するヤホールに、藤本吉利と藤本容子夫婦による二人行脚コンサートがやってきます。鼓童で出会った音の数々。共に重ねた人生と芸の道行きの響きの妙。佐渡の民謡を始め、伝説や民話から想を得た歌物語、日本各地に伝わる唄・そして太鼓演奏。トークも交え、ときに密やかに、ときに吠えるが如く、鼓舞してやまない絆の証しをどうぞお楽しみください。



写真/岡本隆史

料金 指定席 売完 自由席 3,500円

主催 お問合せ こんぶりしばしば 025-244-7485(柴沢)

コンサート

十日町市民吹奏楽団 サマーコンサート'19

6/15(土) 18:00 越後妻有文化ホール「段十ろう」

今回のテーマは「平成」。令和という新しい時代でも多くの人に親しまれるであろう数々の名曲をお届けします。コンサートの最後には、会場の皆さまと一緒に、スーザ作曲「星条旗よ永遠なれ」を演奏します。ぜひ楽器を持って足をお運びください。弦楽器、リコーダー、ハーモニカなど、音のなるものなら何でもOK!段十ろうのステージで一緒に演奏してみませんか。



曲目:天国の島(DASH島のテーマ曲)、レ・ミゼラブル、NHK大河ドラマ「篤姫」テーマ曲、バイレーツ・オブ・カリビアンメドレー 他

料金 全席自由 500円(当日200円増) 小学生以下 無料

主催 お問合せ 十日町市民吹奏楽団 090-2218-9401(近藤)

コンサート

助成事業

ヘンデル オラトリオ「メサイア」演奏会

7/7(日) 14:00 燕市文化会館

「ハレルヤ」が有名なオラトリオ「メサイア」は、キリストの生誕、受難、復活が物語風に語られた楽曲です。バロック音楽の響きを歌声とピアノ、電子オルガンにのせてお届けします。ぜひお話しあわせのうえご鑑賞ください。

出演:松崎泰治(指揮) 兼古千恵(ピアノ) 長沢孝明(電子オルガン) 牧野正人(ソリスト/バス) つばめメサイア合唱団
曲目:「メサイア」より抜粋「ハレルヤ」他27曲



料金 全席自由 1,000円(当日200円増)

お問合せ つばめメサイア合唱団事務局 090-1617-3431

【主催】バストラレー&飛燕メサイア合唱団

コンサート

助成事業

大光ツインスマイルコンサート
長岡交響楽団第60回定期演奏会

7/7(日) 14:00
長岡リリックホール コンサートホール

第60回を記念して指揮者に横島勝人氏、ゲストコンサートマスターに館市正克氏を迎えて、リムスキー=コルサコフの交響組曲「シェヘラザード」などをお届けします。どうぞお楽しみください。

出演:横島勝人(指揮)、館市正克(ゲストコンサートマスター)
曲目:ウェーバー/祝典序曲Op.59、シベリウス/カレリア組曲Op.11、リムスキー=コルサコフ/交響組曲「シェヘラザード」Op.35



料金 全席自由 一般 1,500円 高校生以下 800円(当日各200円増)

主催 お問合せ 長岡交響楽団 0258-36-3327(村山)

コンサート

託児あり(小千谷公演のみ)

TOKI 弦楽四重奏団2019

7/27(土) 14:00 小千谷市民会館
7/28(日) 14:00 りゅーとぴあ 能楽堂
7/29(月) 19:00 五泉市さくらんど会館

夏の恒例となったTOKI弦楽四重奏団。今年は県内3カ所で開催してきた面怡会。能面師吉川花意師(平成29年県知事表彰)が主宰するこの面怡会の会員が制作した「能面」と課題面「大應見(おおへしみ)」あわせて40面、並びに指導者吉川花意師が作成した能面約5面を展覧します。この機会にぜひ能面の神秘的な世界に触れてみてください。



料金 小千谷公演 全席自由 一般 2,000円 中学生以下 500円
新潟公演 全席自由 一般 3,000円 学生 1,500円(要学生証)
五泉公演 全席自由 一般 1,500円 高校生以下 無料
※未就学児の入場はご遠慮ください。

お問合せ 小千谷市民会館 0258-82-9111 TOKI弦楽四重奏団実行委員会 025-222-0707
五泉市村松公民館 0250-58-5082

【主催】小千谷市、小千谷市教育委員会(小千谷のみ)、TOKI弦楽四重奏団実行委員会(新潟のみ)、五泉市教育委員会(五泉のみ)

コンサート

山形交響楽団 新発田公演

8/4(日) 16:00 新発田市民文化会館

毎年恒例の山形交響楽団による夏のオーケストラ公演!今年是指揮に阿部未来氏を迎え、ベートーヴェンの交響曲やモーツァルトのオーボエ協奏曲などを演奏します。どうぞお楽しみください。



出演:阿部未来(指揮) 柴田祐太(オーボエ)
山形交響楽団
曲目:モーツァルト/オーボエ協奏曲ハ長調K.314、ベートーヴェン/交響曲第8番ハ長調Op.93 他

料金 全席自由 2,000円
※未就学児の入場はご遠慮ください。

主催 お問合せ 新発田市民文化会館 0254-26-1576

イベントなど

助成事業

ピアノ弾き語り・踊りのコラボレーション
「百人一首」

8/23(金) 18:30 新潟県民会館 小ホール

ピアノで和歌を弾き語り、踊りで表現する「百人一首」の世界。知っているようで知らない日本人の和の心と美を歴史背景や雑学などを交えた解説付きでお贈りします。

出演:丹千尋(ピアノ・語り・歌)、高橋紅末(ダンス)、堤悠輔(ダンス)
演目:「百人一首より」小野小町/「花の色はうつりにけりな」、阿倍仲麻呂/「天の原ふりさけみれば」他(ピアノソロ)ショパン/ノクターンOp.9-2、リスト/愛の夢、ラヴェル/水の戯れ 他



料金 全席自由 3,000円

主催 お問合せ Compagnie Classique 080-7195-7012

美術展・写真展

第32回面怡会能面作品展
~面怡会会員と吉川花意~

6/5(水)~6/9(日)
NSTギャラリー
10:00~17:00(最終日は16:00まで)

能楽と共に発展してきた「能面」。能楽の舞台上で実際に使用される能面の制作を目指し、活動を続けてきた面怡会。能面師吉川花意師(平成29年県知事表彰)が主宰するこの面怡会の会員が制作した「能面」と課題面「大應見(おおへしみ)」あわせて40面、並びに指導者吉川花意師が作成した能面約5面を展覧します。この機会にぜひ能面の神秘的な世界に触れてみてください。



「大應見」吉川花意作

同時開催 池坊小野葎峰の生花展示

料金 入場無料

主催 お問合せ 面怡会 025-233-0080(若松)

古典・伝統

第33回新潟県無形文化財 大須戸能「新能」

8/15(木) 18:30 朝日みどりの里 日本庭園

村上市大須戸地区に古より伝承される新潟県無形文化財の大須戸能。伝えよれば弘化元(1844)年の冬、庄内黒川の能役者・蛸井甚助が大須戸に逗留した際、村人が指導を受けたとされ、嘉永5(1852)年の記録には「古来の能装束が欠損して役に立たなくなったので奉納を願う」と記されています。この機会にぜひ新潟の伝統芸能に触れてみてください。



料金 入場無料 ※雨天の場合、村上市総合文化会館

お問合せ 村上市生涯学習課 0254-53-7511

【主催】村上市、村上市教育委員会

ミュージカル・演劇・舞踊

託児あり

劇団四季ミュージカル 『エビータ』

新潟公演 7/19(金) 発売開始

上越公演 6/30(日) 発売開始

9/28(土) 17:30 新潟県民会館 大ホール
9/29(日) 17:30 上越文化会館 大ホール

アンドリュー・ロイド＝ウェバーの最高傑作『エビータ』12年ぶりの全国公演。アルゼンチンの片田舎に私生児として生まれた少女エバ。彼女が大統領夫人となり、33歳でその生涯を終えるまでの一生を描いた物語。



撮影:山之上雅信 過去の公演より

料金 [新潟公演]全席指定 S席 8,640円 A席 6,480円 B席 3,240円
[上越公演]全席指定 S席 8,500円 学生 4,500円
A席 6,200円 学生 3,000円 B席 3,000円
※3歳未満の入場はご遠慮ください。3歳以上要チケット。

お問合せ 新潟県民会館 025-228-4481 上越文化会館 025-522-8800

【主催】[新潟公演](公財)新潟市芸術文化振興財団、劇団四季、新潟日报社、BSN新潟放送
[上越公演](公財)新潟県文化振興財団、上越文化会館

第2回新潟佐渡国際美術交流展

助成事業

6/6(木)~6/9(日) 新潟県民会館 ギャラリー
9:00~17:00(初日は13:30から、最終日は16:00まで)

6/23(日)~6/29(土) 新潟国際美術館
10:00~16:00

年齢も国籍も問わず、プロとアマチュアが一緒に佐渡での写生の段階から交流を深めて開催する展覧会です。会場では海外の画家による講演会や実演会も合わせて開催されます。雄大な佐渡の大自然を題材とした水彩画、版画、日本画などをご堪能ください。



料金 入場無料

主催 お問合せ 国際画友会 0259-23-5000

第1回奥阿賀国際アートフェスタ

助成事業

6/30(日)まで 阿賀町豊実地域
屋内展示 9:00~17:00 屋外展示 終日

阿賀町に滞在する諸外国から来日したアーティストと国内のプロ作家、一般住民が集結して作りあげる国際アートフェスタが開催されます。それぞれの国や住んでいる地域の生活の中にあるアートのなものをモチーフに屋内外、地域のいたるところに作品を展示します。制作過程から観覧できる見ごたえのある展覧会をどうぞお楽しみに!



関連イベント

シンポジウム
6/15(土) 13:30 和彩館
展示アーティスト数名をゲストに、作品の見どころや制作について、そしてこれからの生き方を問います。

料金 入場無料
主催 特定非営利活動法人コスモ舞台 0254-96-2003

インポッシブル・アーキテクチャー もうひとつの建築史

7/15(月・祝)まで 新潟市美術館
9:30~18:00 (券売は17:30まで) 月曜休館 ただし、7/15は開館

20世紀初頭からの100年にわたる「建たなかった」建築を、国内外に所蔵される図面・模型・映像など約190点を通じて紹介します。実現しなかった構想の数々から、逆説的に「建築」の可能性が浮かび上がります。

関連イベント

シリーズ・レクチャー
「もうひとつのモダニズム」
6/22(土) 14:00 講堂 先着80名
講師:前山裕司氏(新潟市美術館館長)
内容:「アンビルト概説-ロシアを中心に」
みどころ解説
「なぜ建物は建たなかったのか」
7/7(日) 14:00 講堂 先着80名
講師:藤井素彦氏(新潟市美術館学芸員)



藤本壮介「ベトンハラウウォーターフロントセンター設計競技1等案」CG画像、2012年

料金 一般 1,000円 高校・大学生 800円 中学生以下 無料
お問合せ 新潟市美術館 025-223-1622

【主催】新潟市美術館、読売新聞社、美術館連絡協議会

新たな国民のたから -文化庁購入文化財展-

7/27(土)~8/25(日) 新潟県立歴史博物館
9:30~17:00 (券売は16:30まで) 月曜休館 ただし、8/12は開館

貴重な文化財の散逸や海外流出を防ぐため、国が文化財を購入する事業があります。国の所有となった貴重な文化財については、毎年文化庁と各地の博物館とが共催した展覧会の開催などを通じて、広く公開されており、今年は新潟県立歴史博物館を会場としてご紹介します。この機会をお見逃しなく。



太刀 銘守次 革包太刀拵(国指定重要文化財)

関連イベント

記念講演会「文化財の保存と活用-近年の古文書指定から-」
7/27(土) 13:30 講堂 要申込(定員150名)
講師:藤田勲夫氏(文化庁文化財第一課主任文化財調査官)

料金 一般 510円 高校・大学生 200円 中学生以下 無料
主催 新潟県立歴史博物館 0258-47-6130

ドナルド・キーン追悼企画展
生涯でいちばん幸福な時は現在です。
~ドナルド・キーンの歩んだ道のり~

7/15(月・祝)まで ドナルド・キーン・センター柏崎
10:00~17:00 (入館は16:30まで) 月曜・火曜休館(祝日の場合はその翌日)

1940年に源氏物語と運命的な出会いを果たし、以来75年を超える年月を日本文学研究の道一筋に歩み続けたドナルド・キーン先生が96歳で逝去されました。その努力とお人柄、人を惹きつけてやまなかったキーン先生の人生を紹介します。



ドナルド・キーン・センター柏崎でのサイン会

追悼企画展
太平洋戦争とドナルド・キーン
写真で綴るドナルド・キーンのあゆみ
キーン先生95歳のバースデーパーティー

料金 一般 500円 中・高校生 200円 小学生 100円
お問合せ ドナルド・キーン・センター柏崎 0257-28-5755

【主催】(公財)ブルボン吉田記念財団

にいがたの映画人

第1部 6/8(土)~7/15(月・祝)
第2部 7/19(金)~8/25(日)
にいがた文化の記憶館 10:00~18:00

(入館は17:30まで) 月曜(祝日の場合はその翌日)、7/16~18休館
戦後、東映と東映動画を創立した大川博(新潟市出身)は映画の娯楽化を目指しました。本展は2部構成で、にいがたの映画人を紹介します。

関連イベント

杉井ギサブロー監督と津堅信之氏による対談
7/14(日) 14:00 メディアシップ6F 要申込(先着90名)
参加費 一般 500円 学生 300円 (観覧券付)
出演:杉井ギサブロー氏(アニメーション監督)
津堅信之氏(アニメーション研究者、
日本大学芸術学部映画学科講師)



落谷虹児「夢見童子」原画 1958年 個人蔵

中島貞夫監督による講演会
8/18(日) 14:00 メディアシップ2F 要申込(先着200名)
参加費 一般 500円 学生 300円 (観覧券付)
講師:中島貞夫氏(映画監督) 他

料金 一般 500円 高校・大学生 300円 中学生以下 無料
お問合せ にいがた文化の記憶館 025-250-7171

【主催】にいがた文化の記憶館、(公財)新潟県文化振興財団

上越の寺社と徳川の城

7/20(土)~10/20(日)
上越市立歴史博物館
9:00~17:00 (券売は16:30まで)

月曜休館(祝日の場合はその翌日) ただし、会期中は8/25まで無休
江戸時代前半、北国の要の地にあたる高田城は広大な領地を支配する徳川の城でした。そのため上越には徳川一門であった松平忠輝、松平忠昌、松平光長らが寄進した道具類や古文書等を伝える寺社が多くあります。葵紋を散らした道具類、全国的にも数少ない徳川秀忠の肖像画、そして藩主自身や家老たちが寺社へ宛てた寄進状や禁制、書状の数々。高田藩と徳川家のつながりを紹介します。



徳川秀忠像(天崇寺所蔵)

料金 一般 500円 小・中・高校生 250円 ※上越市内の小・中学生無料
主催 上越市立歴史博物館 025-524-3120

-子どもとワクワク・ドキドキを- 親子で楽しもう

イベントなど

6/1(土) 発売開始

キャラメルマシーン
「スーパーサイエンスマジックショー」

8/3(土) 14:00 胎内市産業文化会館
サイエンスショー+マジック+笑いの参加型!新感覚サイエンスショー!親子で楽しみながら科学を学べます。夏休みの自由研究のヒントになるかも!?

出演:キャラメルマシーン(SADA・おだじ)

料金 大人 1,500円 中学生以下 800円

お問合せ 胎内市産業文化会館 0254-43-6400

【主催】胎内市教育委員会



美術展・写真展

光と遊ぶ超体感型ミュージアム
帰ってきた!魔法の美術館

6/15(土)~9/1(日) 新潟市新津美術館
10:00~17:00 (券売は16:30まで) 月曜休館(祝日の場合はその翌日) ただし6/24、7/29、8/5、19は開館

魔法の美術館は、「見て、触って、参加する」新感覚の体感型展覧会です。色とりどりの光や音、映像を用いた作品は、鑑賞者の動きに合わせて様々なかたちに変化します。国内外で活躍するアーティストの新たな手法による表現は、直感的、能動的に楽しむことができ、世代を超えて愛されています。

関連イベント

「紙で作る キラキラ★モビール」
7/27(土) 14:00、7/28(日) 10:30
定員各回20名 参加無料(要申込6/9~7/15)

「光のミックスジュース」
8/24(土) 14:00
定員20名 参加費300円(要申込6/9~8/5)



藤本直明「色のある夢」©naoaki FUJIMOTO

料金 一般 1,000円 高校・大学生 500円 中学生以下 無料
お問合せ 新潟市新津美術館 0250-25-1300

【主催】新潟市新津美術館、新潟日報社、N S T

コンサート

魚沼吹奏楽団&南魚沼市民会館 文化芸術活性化パートナーシップ事業
おんがくだいすき! ~うすいサマーコンサート~

8/31(土) 13:30 南魚沼市民会館 多目的ホール
魚沼吹奏楽団メンバーによる楽しい演奏会!親子で音楽を楽しみたい!という家族にピッタリのコンサート。楽器体験コーナーは子どもも大人も誰でもOK♪みんなでチャレンジしてみよう!

出演:魚沼吹奏楽団

料金 入場無料

お問合せ 南魚沼市民会館 025-773-5500

【主催】(公財)南魚沼市文化スポーツ振興公社、魚沼吹奏楽団



美術展・写真展

MOE 40th Anniversary 人気絵本のしみつ展
島田ゆか 酒井駒子 ヒゲチユウコ ヨシタケシンスケ なかやみわ

7/13(土)~9/23(月・祝) 新潟県立万代島美術館
10:00~18:00 (券売は17:30まで) 7/22、8/5、8/19、9/9休館

絵本に関する最新情報を幅広い世代に向けて発信してきた月刊雑誌「MOE」の創刊40周年を記念し、5人の人気作家による絵本原画展を開催します。貴重な絵本原画約200点を一堂に展示するほか、スケッチやダミー本、設定資料など絵本制作に関わる資料や大切にしているゆかりの品々も展示し、5人の作家それぞれの魅力と世界観に迫ります。

料金 一般 1,100円 高校・大学生 900円 中学生以下 無料

お問合せ 新潟県立万代島美術館 025-290-6655

【主催】新潟県立万代島美術館、TeNYテレビ新潟、MOE展新潟実行委員会、白泉社



© YUKA SHIMADA / OJIGI BUNNY INC. / KOMAKO SAKAI / YUKO HIGUCHI / SHINSUKE YOSHITAKE / MIWA NAKAYA / HAKUSENSHA



文化庁

平成31年度 文化庁
文化芸術創造拠点形成事業

平成31年度舞台芸術への 県民参加推進プロジェクト

県内の文化施設等からなる「舞台芸術への県民参加推進プロジェクト」では、一人一人全ての県民が、舞台芸術に気軽に触れる、又は気軽に舞台を創る体験ができる機会を積極的に提供するために、県内各地で様々な優れた公演等を実施します。この事業には、文化庁の「文化芸術創造拠点形成事業」を活用しています。

<参加団体>

新潟県民会館・糸魚川市民会館・上越文化会館・南魚沼市民会館・見附市文化ホールアルカディア・魚沼市小出郷文化会館・りゅーとびあ新潟市民芸術文化会館・新潟市北区文化会館・新潟市秋葉区文化会館・柏崎市文化会館アルフォーレ・長岡市寺泊文化センター・燕市文化会館・胎内市産業文化会館・新潟県・(公財)新潟県文化振興財団

古典・伝統

鼓童 交流公演2019

6/30(日) 14:00

燕市文化会館

身体まるごとで感じる和太鼓の響き！
太鼓の魅力が五感で感じられる舞台。
太鼓体験コーナーや楽しいトークが人気！

出演:草洋介、地代純、北林玲央、吉田航大、三枝晴太、山脇千栄、渡辺ちひろ、小野田太陽、中谷憧(予定)
曲目:千里馬、大太鼓、屋台囃子 他



料金 全席自由 一般 2,000円 中学生以下 500円(当日各500円増)
※5歳未満入場不可、5歳以上要チケット

お問合せ 燕市文化会館 0256-63-7002

古典・伝統

託児あり

野村萬斎によるはじめての狂言

8/18(日) 14:00

糸魚川市民会館

野村萬斎がお送りする狂言の真髓。
入門講座では狂言の舞台や装束、約束事を分かりやすく解説。

演目:解説 野村萬斎
狂言「附子」高野和憲 他
狂言「首引」野村萬斎 他



狂言「首引」撮影:オクムラ写真館

料金 全席指定 一般 3,000円 中学生以下 500円(当日各500円増)
※未就学児の入場はご遠慮ください。

お問合せ 糸魚川市民会館 025-552-5900

コンサート

6/9(日) 発売開始

親子で歌いごう 日本の歌百選 ファミリーコンサート

8/25(日) 14:00 長岡市寺泊文化センター

「おかあさんといっしょ」16代目うたのお姉さん神崎ゆう子が出演。遊び歌や親子クイズなど親子で楽しめるコンサート。0才からご入場いただけます。

曲目:おもちゃのチャチャチャ、大きな栗の木の下で、むすんでひらいて、しあわせなら手をたたこう、いぬのおまわりさん、ぞうさん、かめめの水兵さん 他



料金 全席自由 一般 1,500円(当日500円増) 中学生以下 無料(要入場整理券)

お問合せ 長岡市寺泊文化センター 0258-75-5155

古典・伝統

はじめての落語

7/6(土) 14:00

はーとびあ中郷

桃月庵白酒と、新潟県出身の瀧川鯉橋による、『落語』がさらに面白くなる講座つき落語公演。

出演:桃月庵白酒
瀧川鯉橋
林家はな平
林家やまびこ
稲葉千秋(お囃子)



料金 全席自由 一般 2,000円 中学生以下 500円(当日各500円増)
※5歳未満入場不可、5歳以上要チケット

お問合せ 上越文化会館 025-522-8800

コンサート

託児あり

奥村愛 ヴァイオリン・カルテット

7/21(日) 14:00

柏崎市文化会館

アルフォーレ 大ホール

奥村愛率いるクラシック界の第一線で活躍する、鍵富弦太郎、西江辰郎、大宮臨太郎によるコンサート。

曲目:ヴィヴァルディ/4つのヴァイオリンのための協奏曲、ガーシュウィン(ハイフェッツ編)/「ポーギーとベス」より、モンティ/チャルダッシュ、ピアソラ/リベルタンゴ 他



料金 全席自由 一般 2,000円 中学生以下 500円(当日各500円増)
※未就学児の入場はご遠慮ください。

お問合せ 柏崎市文化会館 アルフォーレ 0257-21-0010

コンサート

7/12(金) 発売開始

託児あり

プラハ・チェロ・カルテット

10/11(金) 19:00 青海総合文化会館(きらら青海)

10/12(土) 14:00 胎内市産業文化会館

クラシックの定番から映画音楽、ポップスまでダイナミックでユーモア溢れる演奏をお楽しみください。

曲目:バッハ/G線上のアリア、「オペラ座の怪人」序曲、レット・イット・ゴー〜「アナと雪の女王」、クイーン/ボヘミアン・ラプソディ 他



料金 全席自由 一般 2,000円 中学生以下 500円(当日各500円増)
※未就学児の入場はご遠慮ください。

お問合せ 糸魚川市民会館 025-552-5900 胎内市教育委員会 0254-47-3409

ミュージカル・演劇・舞踊 7/28(日) 発売開始 託児あり

劇団四季ファミリーミュージカル 「はだかの王様」

11/3(日・祝) 15:00 南魚沼市民会館 大ホール

アンデルセンと寺山修司と、劇団四季のミュージカル!見えない服が、あなたの心を見せてくれる。おしゃれに夢中な王様がつくらせる不思議な服をめぐって繰り広げられる物語は「本当のことを言う勇氣」の大切さを教えてくれます。



料金 全席指定 一般 3,500円 高校生以下 2,000円
※3歳未満入場不可、3歳以上要チケット

お問合せ 南魚沼市民会館 025-773-5500

ミュージカル・演劇・舞踊 6/6(木) 発売開始 託児あり

りゅーとびあ演劇スタジオ キッズ・コース APRICOT2019夏季公演「リフカの旅」

8/10(土) 13:00・17:30・11(日・祝) 14:00・12(月・振休) 14:00

りゅーとびあ 劇場

だれもが感動できる舞台を目指し活動するAPRICOT。この夏お届けするのは、100年前のウクライナに生きた少女の希望の物語。



APRICOT2018夏季公演「ハイツ」

料金 全席自由 700円
※4歳未満入場不可、4歳以上要チケット

お問合せ りゅーとびあ チケット専用ダイヤル 025-224-5521

ミュージカル・演劇・舞踊 託児あり

東京バレエ団 子どものためのバレエ「ドン・キホーテの夢」

8/17(土) 14:00 見附市文化ホール アルカディア

子どもたちが初めて見ても楽しめるバレエとして、見どころを凝縮したバレエ鑑賞デビューに最適な公演です。

関連イベント

東京バレエ団ダンサーによる「はじめてのバレエ」

8/16(金) 13:30~14:15(予定)
見附市文化ホールアルカディア 小ホール
対象:4歳~7歳のバレエ未経験者向け
参加費:500円(保険料込)
6/24(月)から受付開始 先着30名(要申込)
お問合せ:025-228-3577(新潟県文化振興財団)



photo:Kiyonori Hasegawa

料金 全席指定 一般 3,500円 高校生以下 1,500円
※4歳未満入場不可、4歳以上要チケット

お問合せ 見附市文化ホール アルカディア 0258-63-5321

ミュージカル・演劇・舞踊

9/5(木) 発売開始 託児あり

新潟ダンスの祭典

11/17(日) 11:00

新潟県民会館 大ホール

高校ダンス部の強豪校が新潟に集結!豊かな表現力と、躍動感あふれるパワフルなダンスをお楽しみください。

出演:愛知・光ヶ丘女子高校
神奈川・大和高校
大阪・同志社香里高校
新潟清心女子高校、新潟明訓高校、新潟南高校、新潟中央高校
ゲスト:平原慎太郎 (OrganWorks)



©Eiji Takahashi

料金 全席指定 一般 2,000円 高校生以下 1,000円(当日各500円増)
※未就学児の入場はご遠慮ください。

お問合せ 新潟県民会館 025-228-4481

マイタウン・コンサート 2019

新潟県出身・在住の演奏家によるお話付きの楽しいコンサートを県内各地にお届けします！
どうぞお楽しみください。

6/28(金) 19:00 津南町文化センター

和と洋の垣根を超えて、伝統の枠を超えて繰り広げられるパフォーマンス。耳なじみのある名曲、ポピュラー、歌謡曲と軽快なトークで楽しさ満載のコンサートです。

出演：薫風之音（鯨岡徹：尺八、藤崎浩子：箏）、川崎祥子（ピアノ）、藤島玲子（パーカッション）

曲目：春の海、アメイジンググレイス、真赤な太陽、ルパン三世のテーマ、情熱大陸 他



料 金 全席自由 500円 中学生以下 無料
お問合せ 津南町文化センター 025-765-3134

7/12(金) 19:00

アミューズメント佐渡 はまなすホール

フルートとヴァイオリン、そしてチェンバロが織りなす優雅な旋律。パロック時代の名曲を織り交ぜてお届けします。どうぞお楽しみに。

出演：市橋靖子（フルート）
佐々木友子（ヴァイオリン）
笠原恒則（チェンバロ）

曲目：ビゼー／アルルの女よりメヌエット、モンティ／チャルダッシュ、ヘンデル／調子の良い鍛冶屋、日本の四季より 他



料 金 全席自由 500円 中学生以下 無料（要整理券）
お問合せ アミューズメント佐渡 0259-52-2001

2019年度文化活動支援助成団体決定 2019年度 県民文化活動推進事業は下記の通り決定しました。

申請団体名	団体所在地	事業名	開催日	会場
見附市（見附市文化ホールアルカディア）	見附市	行ってみよう!!アルカディア春の音楽会	2020年3月	見附市文化ホールアルカディア
特定非営利活動法人コスモ夢舞台	阿賀町	第1回阿賀国際アートフェスタ開催事業	5/20~6/30	阿賀町豊実（里山アート展、石夢工房等）
長岡交響楽団	長岡市	大光ツインスマイルコンサート 長岡交響楽団第60回定期演奏会	7/7	長岡リリックホール
公益財団法人 池田記念スポーツ文化財団	南魚沼市	第3回八色の森の美術館 + 八色の森の子ども絵画展2019	10/13~11/30	池田記念美術館
剣詩舞道 都美会	新潟市	第10回 都美会 時の舞発表会	2020年3/1	りゅーとびあ（能楽堂）
長岡混声合唱団	長岡市	第15回長岡混声合唱団定期演奏会	9/8	長岡リリックホール
新潟県かるた協会	三条市	第2回全国競技かるた新潟大会	10/12	新潟市新津武道館
国際画友会	新潟市	第2回新潟佐渡国際美術交流展	4/12~6/29	佐渡国際美術館、新潟国際美術館 新潟県民会館（ギャラリー）
IOFJ新潟実行委員会	新潟市	第29回「インターナショナル・オルガン・フェスティバル・イン・ジャパン」2019新潟公演	6/7	りゅーとびあ
糸魚川吹奏楽団	糸魚川市	第40回記念定期演奏会	9/22	糸魚川市民会館
柏崎市市民合唱団	柏崎市	第46回柏崎市市民合唱団定期演奏会	12/1	柏崎市文化会館アルフォーレ
魚沼バイオリンランドクラブ	魚沼市	中越地震から15年、元気に復興した魚沼の絆を未来へ繋げる～魚沼バイオリンランドクラブ震災メモリアル演奏会～	11/3	魚沼市小出郷文化会館
長岡市民合唱団	長岡市	長岡市民合唱団 第31回定期演奏会「カルミナ・プラーナ」～日本を代表するプロ打楽器集団との競演	10/20	長岡リリックホール
新潟お茶フェス実行委員会	新潟市	新潟お茶フェスティバル	11月2020年3月	新潟駅構内、NSTゆめホール
新潟芸術座	新潟市	新潟芸術座 アントン・チェホフ作「かもめ」上演事業	12/4~12/8	にいがた古町えんとつシアター
伝統芸能継承詩吟剣詩舞連盟	三条市	新潟県知事杯争奪コンクール	8/4	長岡リリックホール（シアター）
新潟中央おやこ劇場	新潟市	新潟中央おやこ劇場45周年企画 子どものための舞台芸術体験	4/13~12/22	池田記念美術館
新津吹奏楽団	新潟市	新津吹奏楽団創立40周年記念 第25回定期演奏会	6/9	新潟市秋葉区文化会館
NPO法人県央地域に舞台芸術を育む会	三条市	バレエ「ドン・キホーテ」全3幕（オーケストラ付）公演	12/1	加茂文化会館
Compagnie Classique	新潟市	ピアノ弾き語り・踊りのコラボレーション「百人一首」	8/23	新潟県民会館（小ホール）
飛燕メサイア合唱団	燕市	ヘンデル オラトリオ「メサイア」演奏会	7/7	燕市文化会館

Culture Niigata

●発行回数 年4回（5月、8月、11月、2月）
●発行部数 15,000部
●配布先 市町村、公民館、文化施設、金融機関、大学等

●発行 公益財団法人 新潟県文化振興財団
TEL 025-228-3577 FAX 025-228-3818
E-mail jigyou@niigata-bunka.jp WEB http://www.niigata-bunka.jp
Address 〒951-8132 新潟市中央区一番堀通町3-13

「カルチャーにいがた」送付について

「カルチャーにいがた」をご希望の方には郵送料実費にてお送りしています。住所、氏名、希望する部数を明記の上、返信用切手（140円/1冊）を添えて、新潟県文化振興財団までお申し込みください。複数冊ご希望の場合はお問い合わせください。

— シリーズ —

URAKATA

裏を語る

舞台裏から、芸術の新たな魅力を発信！

舞台をつくっているのはアーティストだけではない。音楽・文化・芸術をもっと身近に感じてもらうためここでは裏方で活躍する人々をご紹介します。第16回目は「芸術監督」の仕事について東京バレエ団・芸術監督の齋藤友佳理さんに話を聞いた。

東京バレエ団 芸術監督
齋藤 友佳理

公演の芸術的な最終責任を負うのが芸術監督

東京・目黒区に本拠地を置く東京バレエ団。1964年に創立以来、古典を絶対的な柱にしつつ、時代に合わせて現代ものも取り入れてきた老舗バレエカンパニーだ。モーリス・ベジャール、ジョン・ノイマイヤーら現代のバレエ界を代表する振付家のオリジナル作品の上演を許されているのは東京バレエ団のみ。

取材の日、都内随一の広さを誇る東京バレエ団のスタジオでは、東京文化会館で上演する「海賊」のリハーサルが行われていた。カナダから振付家のアンナ＝マリー・ホームズさんも特別に参戦、稽古場には日本語、英語、ロシア語が飛び交い、熱気に満ちあふれている。そんな中、ひときわ軽やかに響く声で、ダンサーを指導する女性がいた。芸術監督の齋藤友佳理さんだ。稽古中、少しでも動きが気になるダンサーを見つけるとすぐそばに寄っていき、自ら体を動かし、見本を見せアドバイスをを行っている。ダンサー以上に動いていることから「踊る芸術監督」と呼ばれることもあるそうだ。

バレエにおける芸術監督とは、バレエ団の代表的存在。いわば、「顔」である。公演に対して芸術的な全責任を負うのも芸術監督の役割だ。実際には、ダンサーの指導はもちろん、1シーズンの上演演目を決めたり、一つひとつの演目の振付・演出を担当したり、さらに配役や振付家を誰にするかを決めたりといった業務に携わる。さらに、団全体の経営や運営を司る役割も担っている。

非常に責任重大だ。

「でも、あまり考え過ぎるとつらくなるばかりなので、今、目の前にあって、自分ができるところを精一杯やるのみ。そうすれば、自然に結果はついてくると思うんです」

団員の心を支える 母親的役割をも担う

齋藤さん自身は、芸術監督として大事なことは、ダンサーたちが一致団結し、一つの作品で最高のパフォーマンスができるように導くことだと考えている。

「どんなに優秀なダンサーたちが集まっていたとしても、みんなの気持ちが一つにならないと決して良い作品は生まれませんからです」

そのためにもまずは、一人ひとりを人として成長させることが先決だと考え、齋藤さんはバレエ団員70人一人ひとりと向き合うことを日々心がけている。

「みんな性格が違うし、持っている資質も抱えている問題も違う。彼らを知らないまま一致団結させるなんて到底無理です。だから、団員たちが契約を更新する4月のタイミングで毎年、面接を行っています。そこではバレエに関する芸術的・技術的進歩がどうこうという話もするが、それよりもむしろ団体生活や家族のことなど個人的に抱えている悩みや、「この先どうすればいいの」といった不安を聞くことがほとんど。「その期間は本当に毎日が人生相



技術よりも感性を伸ばしたい 私の仕事はダンサーを 人間的に成長させること

東京バレエ団「海賊」のリハーサルの様子 協力／(公財)日本舞台芸術振興会

談です(笑)。もちろん、面接以外でも何かあれば、いつでも私のところへ来なさい、一人で抱え込まないでと話しています。ある意味、70人のお母さんの存在でありたいなと思いますね」

精神的な不安や悩みが解消されると、ダンサーはガラッと変わる、飛躍的に成長すると齋藤さんは言う。

「結局、東京バレエ団にとってプラスになることだけを考えていてもダメなんです。その子の人生にとって一番良いことを考えてあげないと。以前、ある団員がまだバレエ学校の生徒だった時に、技術的にも精神的にも鍛えたいと思い、ロシアのバレエ学校に留学させたこともあります。ただし、本人にその気がないのに無理強いしたりはしません。あくまでその子に合ったタイミングを見計らって、こちらができる限りの努力をする。その積み重ねが、結果的には東京バレエ団のためになるのではないかと考えています」

偉大な師に学んだ経験を 次世代へ伝える喜び

齋藤さん自身、日本を代表するバレエダンサーだ。6歳で母親の木村公香さんのもとでバレエを習い始め、16歳からはロシアへ幾度となく短期留学。その後、東京バレエ団に所属し、プリマバレリーナとして活躍。96年、舞台上で靱帯断裂の大怪我を負ってしまう。医師には復帰は不可能と宣告されるが、もう一度踊りたい一心で奇跡的な復活を遂げている。それ以外にも何度も窮

地に立たされ、波瀾万丈なバレエ人生を送ってきた。しかし、ある時から、「私はもしかして指導者に向いているかもしれない」と思うようになったと言う。2004年、モスクワ舞踊大学院へ留学したのも、バレエ教師の資格取得のためだった。

「それと、私はもともとカリキュラムにのっとったバレエ教育を受けておらず、いつかロシアの本物のバレエを学びたいという気持ちもあって留学しました」

若い頃、ロシアへ短期留学した時には、ロシアのバレエの母と呼ばれるアグリッピーナ・ワガノワの一番弟子、マリーナ・セミーノワに東洋人で唯一教えてもらった。偉大な師から直接指導を受けたという貴重な経験で得た“学び”も、次の世代に伝えていきたい。その使命感が、齋藤さんを指導者への道へ突き進めた。

目に見える技術を超えた 感性を持つダンサーに育てたい

今、現役時代の様々な経験を生かし、後進を育成することは自分の性格にも合っていて、大きなやりがいを感じていると齋藤さんは語る。

「今日のリハーサルでも、大役を演じるダンサーの男の子が、素晴らしい踊りを見せてくれたんです。それが最高のプレゼント。よくぞここまで成長してくれたなってうれしくてたまらなかったですね」

ただ最近、一つ気になることがある。技術にばかり目を向ける

若いダンサーが多くなっていることだ。これは本人たちのせいではなく、バレエコンクールが増えているがゆえの弊害だと言う。

「コンクールはあくまで技術を競うもの。数字で判断できる時点でもはや芸術ではなくてしまいますよね。だけど、ダンサーの中にはたくさんのコンクールの受賞歴が自分の実力だと思ってしまう子もいます。絶対に、人の心を動かせるパフォーマンスというのは、技術だけでは成し得ないんです。例えば、3回転ができたからといって人が感動するわけではありません。たった1回転でもそこに自分の魂や感性を込めて回れば、それはお客様にちゃんと伝わり、感動させることができる。東京バレエ団の団員たちにはそこを目指してほしいのです」

より豊かな人間性が備わってこそ、人の心を揺さぶるダンスが踊れる。だから、「感性を磨くために本を読んだり、絵画や映画を観たり、もっとアンテナを広げなくてはダメだよって話しているんだけど」と母親のような口調で話す齋藤さん。団員を本気で包み込み、育てている齋藤さんの温かさが、東京バレエ団のダンサーたちに息づいている。だからこそ、観る者を感動させてやまないのだろう。

次号-シリーズ-URAKATAは衣裳にスポットをあてます。



東京バレエ団 芸術監督 齋藤 友佳理

神奈川県横浜市生まれ。6歳より母・木村公香にバレエを学ぶ。16歳から社会主義時代のロシアへバレエ短期留学を繰り返し、ボリショイバレエ団のプリンシパルダンサー、ニコライ・フォードロフとペアを組む。87年より東京バレエ団に在籍。翌年のヨーロッパ公演『ザ・カプキ』の顔世御前役に抜擢され、以後、プリマバレリーナとして第一線で活躍。2005年、芸術選奨文部科学大臣賞を受賞。09年、ロシア国立モスクワ舞踊大学院バレエマスターおよび教師科を首席で卒業。15年8月より東京バレエ団芸術監督に就任。紫綬褒章をはじめ、受賞歴多数。

公演情報

東京バレエ団 子どものためのバレエ『ドン・キホーテの夢』 2019年8月17日(土)14時開演 見附市文化ホール アルカディア

東京バレエ団の公演が8月17日(土)、見附市文化ホールで上演される。演目は『ドン・キホーテの夢』。この振付・構成・演出を手がけたのは齋藤さん。「スピーディーでテンポ良く、楽しくて分かりやすい内容になっています。まだバレエを生で観たことのない子どもたちに最適です」。

※詳しくはP9をご覧ください。



photo Kiyonori Hasegawa